



福山市立駅家西小学校

学校だより

第4号

2026年(令和8年)6月29日

●学びあう子

●支えあう子

●やり抜く子

異学年交流 縦割り遊び

今年度も、異学年交流の一環として縦割り班活動を行っています。19日は、こども同士がお互いのことを理解し、連帯感を深めるために、縦割り班遊びを行いました。鬼ごっこやドッジボール、長縄など、低学年でも楽しめるような遊びを6年生を中心に考えて、仲良く遊びました。どの班も笑顔で楽しそうに活動することができていました。

7月からは縦割り掃除も始まります。低学年は掃除のやり方も高学年の姿を見て学びます。この縦割り班を通して、互いを理解し合うこと、人とのよりよい関わり方など、人として多くの学びをめざします。



誰よりも遠くへ！紙飛行機大会 ～民生委員児童委員さんとの交流～



6月2日、民生委員児童委員さんが23名来てくださり、1年生対象に紙飛行機大会を開いてくださいました。これまで作ったことや飛ばしたことがない子もいて、楽しみにしていた子がたくさんいました。民生児童委員さんは「イカ飛行機」の折り方を丁寧に優しく教えてくださいました。それぞれ2つずつ作り、飛ばす練習をし、一番気に入った飛行機を使って、とんだ距離を競い合いました。上位3名にはメダルも贈られ、大変盛り上がった2時間でした。そして今日交流し合ったことで顔を覚えていただき、今後も地域で見守っていただきます。ありがとうございました。

大切な命を守るための避難訓練

駅家西小学校では、年間3回「不審者対応」「地震・洪水」「火災」について避難訓練を行っています。

第1回目の避難訓練は、6月4日、不審者対応の訓練を行いました。福山北警察の署員の方に来ていただき、不審者役をお願いし、一部の職員が不審者に対応し、警察と連携し、身柄を確保する訓練を行いました。不審者が学校にやってきたことを無線で各教室に知らせると、教室のドアや窓やカーテンを素早く閉め、鍵を閉め、不審者が入ってこないようにこどもたちは静かにしていました。こどもたちは緊張感をもって取り組み、いつもよりも早く並んだり、校長先生や警察の方の話も真剣に聞いたりするなど、自分の命を自分で守るためにできることは何かを考えることができました。



くらしを支える農業 田植え体験

6月10日に、地域の方々にお世話になり、5年生が田植えを体験させていただきました。田植えをするのが初めての児童がほとんどでしたが、地域の方々の話をよく聞き、途中からは、「苗が寝ているよ。」「ここに植えられるよ。」と児童同士で声をかけ合って取り組んでいました。田植え体験の後、こどもたちから次のような声がありました。「最近では機械で田植えをしているけれど、昔は全て手作業で行っていたから大変だっただろうな。」「農家の人は米が育つように毎日田んぼの管理しているなんてすごい。」このように、田植え体験を通して、農家の方々の苦労や思い、米作りの大変さに少しずつ気付いていました。このことを今後社会科の「くらしを支える農業」につなげていきます。



お願い！注目！

○教育委員会より“すぐーる”で「生活習慣に関するアンケート調査のお願い」の通知がきていると思います。趣旨をご理解のうえ、7月3日(金)までの回答をお願いします。

「こころの相談室(体罰・セクシャルハラスメント・いじめ防止相談窓口)」 場所:保健室・会議室・職員室 担当者:内野・北川耀・前田・松谷